

## 第30回高知県がん対策推進協議会 議事録要旨

1. 日時 令和元年9月17日(火) 19:00~20:10
2. 場所 県庁 第二応接室
3. 出席者 協議会委員 16名(4名欠席)、事務局 4名
4. 会長及び副会長選出

事務局から会長に小林道也委員、副会長に吉川清志委員を提案し了承される。

5. 議事
  - (1) 高知県妊孕性温存治療支援事業(案)について
  - (2) 令和元年度患者満足度等調査について
  - (3) 高知赤十字病院の高知県がん診療連携推進病院の指定の報告について
  - (4) その他

### 6. 議事概要

会長の議事進行により、以下の事項について、事務局から資料について説明が行われた。委員からの主な意見は次のとおり。

#### (1) 高知県妊孕性温存治療支援事業(案)について

小林会長からがん診療連携協議会で生殖医療部会を作った。これは高知県妊孕性温存に対して取り組むネットワークづくりをし高知大学で集約しようという部会であると報告があった。

また、妊孕性温存に関して高知県には課題があり、事例が出た場合は広島や岡山などと連携をとりながら進め、徐々に体制整備や実をつけていくよう考えているとの意見があった。

#### (2) 令和元年度患者満足度等調査について

資料2-1の中で、医療関係者が調査票を既に受け取っていないかを確認するとなっているが確認のしようがないため資料2-3へわかりやすく記載しておいて欲しいとの意見があり、事務局から修正すると回答があった。

患者会から調査票を郵送されて特段問題は起こってないのかとの質問があり、事務局から会報などで周知しているためこれまで問題は起こってないとの回答があった。

回収率について重複はないが母数が厳密に言うとおかしいとの意見があり、事務局から配布の仕方が100%が出ないというご指摘だと思う。ただ重要なものは1件でも県の施策として受け止め母数積算にかかる現象にはそれも込みでの解釈をし回収率をみたいと思っていると回答があった。

調査結果の活用方法について質問があり、県全体の集計と希望された医療機関には自医療機関分のみではあるが集計結果を送付しているとの回答があった。

集計結果の活用方法について質問があり、各医療機関ごとにフィードバックの方法に差があった。

#### (3) 高知赤十字病院の高知県がん診療連携推進病院の指定の報告について

第29回高知県がん対策推進協議会の書面会議で高知赤十字病院が高知県がん診療連携推進病院としての指定されたことを報告。

#### (4) その他

患者満足度等調査の調査票の作り方について、患者の満足度とその他聞きたい項目とを分けるなど患者さんにわかりやすい調査票にするとよいのではないかとの意見があり、事務局からは経年変化を見るため今年度はこのままにさせていただき、今後いただいたご意見を踏まえながら内容の見直しも含め検討していくと回答があった。

以上をもって議事全部を終了、20時10分に閉会。